

サンプル
実施した講座の一例です

SDGs 「様々な開発途上国と教育支援」

趣旨： ○○高校がスーパーグローバルハイスクール認定校として独自に掲げているテーマは「開発途上国の教育支援」である。途上国にはどのような課題があり、その根本原因は何であるか。また、どのような支援が有効で、自分たちには何ができるのか。生徒がこれらを考える素養を育み、自分たちにできる行動を考え、具体的な一步目のアクションに結びつけるための講座とする。以って、究極的にはグローバル社会、多文化共生社会で生きる素養を涵養することを目的として本講座を開催する。学校としては高大連携も視野に入れた講座とする。

- 内容： 1. 実際に途上国での教育支援活動をしている方や、途上国の現状をよく知る方など、実践を伴う有識者の話を聴く。→途上国の現状、教育現場の現状、活動の内容を知る。
2. 上記講師とのコミュニケーション「質疑応答、ディスカッション」を積極的に行う場をつくり、言語活動の充実を図る。→自らの考えや意見を発信する力、相手の意見を聴く力を身につける。
3. 講師の話を契機にして、新聞、図書、IT 等を使って途上国を調べる。→メディアリテラシー、IT リテラシーを身につける。
4. 自分たちができる、自分たちサイズの支援を考える。→発想力、企画力、協働する力を身につける。

実施講座

回	日程	概要	講師・経歴等（候補）
1	6/16 金	オリエンテーション SDGs ゲーム「ぼくらの世界」	NPO 法人未来をつかむスタディーズ
2	6/23 金	コンゴに学校をつくる 大学ゼミの活動	慶応義塾大学教授H氏 みらスタ
3	6/30 金	ガーナに教育を！	一般社団法人 Enije 代表Y氏 みらスタ
4	7/7 金	大学生とのディスカッション	慶応義塾大学教授H氏、大学生6名 みらスタ
5	7/14 金	パラグアイの教育支援 大学ゼミの活動	横浜国立大学教授F氏 みらスタ

※いろんな途上国の現状と、その地における協力活動を学ぶ講座案。

※生徒進学候補先である大学ゼミで実践している活動について、その担当教授から話を聴くことができ、生徒の大学への関心を喚起できる。また、高大連携の一環にもなる。

※外部講師の講義時も、生徒のクリエイティブな企画活動を促す工夫をする。

※全日程、みらスタよりファシリテーター、または、ナビゲーターが同行し、講義全体の一貫性を保つ。